

# 伊那弥生ヶ丘高校生徒と伊那市議会との意見交換会 報告書

伊那市議会では、政治や地域への若者の関心を高め、全員に投票に行ってもらうこと、議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

今回は、伊那弥生ヶ丘高等学校の生徒の皆さんが伊那市議会を訪れ、「地域の探究的な学習」の成果発表と同時に、議会の意義や地域のすばらしさなどについて伊那市議会議員との懇談を行ないました。

## 1. 開催日程

令和6年3月18日(水) 午後2:30～午後4:30 伊那市役所

午後2:30	全体会 探究学習発表	議場
午後3:15	グループ懇談	議長室ほか
午後4:05	全体会 まとめ	議場
	(グループごとの内容発表、生徒感想発表)	
午後4:35	終了	

## 2. 参加者

伊那弥生ヶ丘高校生徒14人、教員2人

伊那市議会議員19人、議会事務局職員3人

## 3. 探究学習発表

- |   |                          |        |
|---|--------------------------|--------|
| 1 | 感染症が広がらない適正な学習環境が保たれているか | 石倉 彩乃  |
| 2 | 芸術の可能性                   | 唐澤 麻夢子 |
| 3 | 地域医療をテーマとした探究            | 大田 萌々音 |
|   |                          | 長瀬 友菜  |

## 4. グループ懇談

5 グループ（各グループ 生徒2～3人、議員3～4人）

会場 議長室・議員控室（南・北）・理事者控室・議長応接室

- ① 自己紹介（「この地域の良いところ」など）
- ② 探求の学習の内容とこの地域の良いところについて
- ③ 議会のしくみや仕事について
- ④ その他生徒から要望したいことなど

## 5. 懇談の中で生徒から出された意見

（1）探求の学習の内容とこの地域の良いところについて

- ① 探究学習では人間関係を学びたいと、人の性格を「心理テスト」の研究してみた。
- ② 探究学習では、幸福度ランキング1位「フィンランド」について学んだ。
- ③ 探究学習としては、声のかけ方を学んだ。「片付けをして」より「片付けしましょ  
う」の方が、子ども達の自主性につながる事が分かった。
- ④ 二酸化炭素測定について国の基準に学校が満たしていない。特に冬場などは、寒さの  
ため、基準通りの換気を実施する、しないの違いがある。基準を満たすことの大切さ  
を探究した。
- ⑤ 探究で Web の歴史等について行った。文化祭の情報を Web サイトで知らせること  
で、多くの生徒に周知できると思いやってみた。Web を活用して色々なことに挑戦し  
てみたい。また、将来伊那市にある会社の Web を作ってみたり、Web 関連の仕事をし  
たい。
- ⑥ 若い世代の投票率が低いのはなぜかに着目し探究した。選挙の日程、立候補者がわか  
らない人が多い。また、自分の一票に意味があるのか、投票しても政治は変わらない  
のではとの思いから興味がない人が多い。投票により地域が変わることを知ってもら  
いたいと思い、ポスターを描き、啓発活動を行った。
- ⑦ 生き物（ツヤクワガタ）の繁殖環境を探究。伊那市はよい環境が残っている。
- ⑧ 地域医療をテーマとした探究をした。母が看護師なので大変さはよくわかる。普通の  
企業並みの待遇にして欲しい。給料も勤務時間も過酷。
- ⑨ 身近に医療従事者がいないから、わからなかったが、探究の取材で過酷な話を聞いた。  
昔よりは働きやすくなっている。連携が必要なのは。

- ⑩ 看護師の仕事の評判が悪い。少子化の影響もある。ロボットに頼ることも出来ない。
- ⑪ 医師も高齢化している。伊那市も医師不足。。
- ⑫ 将来は放射線技師を目指している。
- ⑬ 将来はまだ検討中。
- ⑭ 軽音楽をやっているが、音楽を通して地域の人との繋がりを持っていきたい。将来は保育士を目指す。
- ⑮ サッカー部の遠征費が高すぎる。毎週 5,000 円かかり、やっていけない。
- ⑯ 将来の志望は臨床検査技師。
- ⑰ 看護師、昔から人の役に立てる仕事に就きたい。ドラマの影響で看護師志望。自分が体調を崩すことが多かったので、理学療法士も考えていたが、いろんな人を助けたい。
- ⑱ 将来はどこで暮らしたいか？静岡など暖かい地方で暮らしたい。その後は地元で暮らしたい。大学は県外で。少し大きい病院で働いて経験を積みたい。
- ⑲ 伊那市は自習室が豊富（箕輪町にはほとんどない）
- ⑳ 地域に人とつながる場所が多い。
- ㉑ 人が多すぎなくて過ごしやすい。
- ㉒ 伊那市は、近所の仲が良い地域。コミュニケーションが取れていて、地域のつながりができている。
- ㉓ 竹藪で遊んでいた、竹でおもちゃを作ったり身近に自然を感じていた。放課後児童クラブは合同で遊んだり、勉強も見てもらっていた。人口が少ない分、交流の場面が多かった。
- ㉔ 大芝高原のテニスコート、子供の支援に対する施設が南箕輪村は完備。

## (2) 議会のしくみや仕事について

- ① 税金がどのように使われているのか理解できていない。
- ② 市としての活動が、道路整備や天竜川の浚渫など見えることしか分からない。
- ③ 議会の録画配信はどの位しているのか。
- ④ 請願の数や年齢層はどうなっているか。自分達からも請願できることに興味がわいた。
- ⑤ 議会の仕事内容がよくわかっていない。特に委員会とは何か。

### (3) 要望事項など

- ① 高校から伊那市駅までの歩く道が暗い（街灯がほとんどない）
- ② 弥生ヶ丘高校の東側の登校坂（教会のある道）の水路から雨が降ると水があふれている。冬の寒い日はその水が凍っていて危ない。
- ③ 通学路ヒヤリハットで危険箇所（車通りが多く、幅員が狭い箇所、高い塀が壊れそうな箇所等）について、同じ箇所を何度も書いているが、整備されない。道路整備をはじめ、危険箇所の整備などをしてほしい。（春富中学校区）
- ④ バイクで通学している。電車の時間は不便。新校になるのでその時にバス路線等公共交通が便利になるといい。
- ⑤ イーナちゃんバスのような循環バスを広域で走らせてほしい
- ⑥ 電車やバスを12時台に走らせてほしい。
- ⑦ 伊那市駅で電車を待つときに寒い（暖かく待つ場所がない）。
- ⑧ スタバやマックが学校や駅から遠くて利用しにくい。
- ⑨ 商店街にスタバやマックが欲しい（普通の喫茶店は高くて入りにくい）。
- ⑩ 伊那新校ができたなら伊那市駅がますますさびれてしまいそうなので考えてほしい。
- ⑪ 気軽に集える場所を分かりやすくしてほしい。
- ⑫ 広い場所が欲しい（普段は勉強、休日はイベントで使えるような）。
- ⑬ 親からの目線からだ伊那市は暮らしやすいと感じる。子どもからの目線だと疑問を感じる。高校生が気軽に利用できる施設が欲しい。運動できる遊び場等、娯楽施設があれば良い。若者が必要とする施設がもっと揃えば市外に進学等に出ていっても、こっちに帰ってくると思う。
- ⑭ 伊那市に足りないものは活気。自動販売機が飯田方面乗り場がない。

(4) 高校生からよく出される意見について

下表にまとめた意見については、今回の懇談の中でも取り上げられていますので参考としてください。

意見 1	<p><b>【学習スペースの不足】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習室、学習スペースが不足。探す手間や無駄な時間がかかる。</li><li>・伊那市駅、伊那北駅の近くで学習できるスペースを。</li><li>・伊那北駅の近くに買い物や飲食、自習のできるスペースを。</li></ul>
現状等	<ul style="list-style-type: none"><li>・まずは次の各施設の学習スペースの有効活用をお願いしたい。</li></ul> <p>&lt;いなっせ（生涯学習センター）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習室 28席 ・5階ロビー北側（臨時学習スペース約20席）</li></ul> <p>&lt;公民館&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・伊那公民館 学習スペース6席、ロビー約17席</li><li>・手良公民館 玄関横の相談室を開放（約4席）</li><li>・西箕輪公民館 図書館学習スペース他（約20席）</li><li>・西春近公民館 学習スペース10席、ロビー約10席</li></ul> <p>※どの公民館も、常に満席ということはありません。高校生の利用がほぼない公民館もあります。</p> <p>&lt;創造館&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習室 16席</li></ul> <p>※いなっせが休館日となる水曜日やテスト期間中は利用者が増えますが、その他の日は席に余裕があります。満席は、年に1、2回程度。</p> <p>&lt;伊那図書館&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習スペースとしても利用可能な席 50席（2階）</li><li>・会議室（1階）（貸館利用がない時間帯のみ）</li></ul> <p>&lt;allla（アルラ）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習室 23席（令和5年11月増設）</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・混雑状況がわかるアプリの開発については、すぐには難しいが検討したい。</li><li>・伊那北地域活性化センター（きたっせ）は、商業振興及び地域の活性化を目的として、指定管理者である「きたっせ活性化委員会」が管理運営を行っています。本来の目的に沿った利用を優先しており、自習室の設置は難しい状況です。</li></ul>

市議会としての考え・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校再編をきっかけとして構想が始まっている「まちづくり推進事業」（伊那市を持続可能な都市とするための産学官民連携によるまちづくり）では、高校生からも現状の課題やまちづくりに期待することを提言する機会があるようです。高校生の皆さんには、その機会に、今回の意見を含めて提言していただきたい。</li> <li>・市議会としても、まちづくり推進事業に、学習室の増設等や、伊那北駅での高校生向けのスペース確保を要望していきます。</li> <li>・学習室の混雑状況が分かるアプリについては、再度検討するよう要望していきます。</li> </ul>
--------------	--

意見	<p><b>【公共交通の利便性の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田線の車両を通学時間帯だけでも増やしてほしい。</li> <li>・電車の本数を増やして欲しい。</li> </ul> <p><b>2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの路線数が少ない。</li> <li>・SuicaなどICカードを利用できるようにしてほしい。</li> </ul>
現状等	<p><b>【電車】</b></p> <p>・JR飯田線は、高校生の皆さんの通学に欠かせない公共交通機関です。伊那市を含む沿線の市町村や商工団体などで構成するJR飯田線活性化期成同盟会では、利便性の向上に向け、毎年、沿線の各高等学校からの要望を取りまとめ、JR東海に伝えています。ダイヤの変更や車両の増設、停車駅の延長（駒ヶ根駅終点を飯田駅まで）、交通系ICカード利用可能エリアの拡大など、令和5年も12月に要望活動を実施しました。利便性向上のためには、粘り強く働きかけを行う必要がありますので、学校を通じて皆さんの声をお寄せください。</p> <p><b>【バス】</b></p> <p>・路線バスは、一定の利用が見込まれるルートを運行しています。近年では、利用者が減少傾向にあり、新しく路線を増やしたり、便数を増やしたりすることは難しい状況ですが、高校の再編を踏まえ、新しいまちづくりの中で引き続き研究していきます。</p>
え・対応	<p>市議会としての考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR飯田線活性化期成同盟会に、JRに対して学校を通じて高校生の意見や要望を確実につなげるよう、引き続き要請していきます。</li> <li>・また、伊那新校の開校に向けて、電車の利便性向上についても粘り強く要望していきます。</li> </ul>

<p>意見 3</p>	<p>【中心商店街などのまちづくりと駅周辺の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通り町のシャッターが閉まっているのが目につく。少しずつ作っていくのではなく、一気に改修してもらいたい。</li> <li>・通り町の改修が難しいのであれば、高校生や中学生の探究とか、使いたい人に貸し出して学習につなげられれば良い。</li> <li>・今後、商店街の扱いをどうするのか。（高校生が行ける店が分からない。高校生の居場所がない。）</li> <li>・伊那市駅のように、伊那北駅周辺にもコンビニ、飲食店、自習室など便利なものがあれば良い。また、伊那市駅～伊那北駅間を無料にしてくれれば、学生達が、市駅と北駅を行き来すると思う。乗車料金 120 円は、高校生には、負担である。</li> <li>・伊那北駅の雨漏りがひどい。改築を望む。また、駅周辺の再開発を望む。</li> <li>・駅舎のスペース分けをして欲しい（お話ができるスペース、静かにしているスペース等）。電車を逃した後、待合室で過ごしている。居場所を作って欲しい。駅で勉強できるスペースが欲しい。</li> </ul>
<p>現状等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中で、伊那北駅と伊那市駅をむすぶ中心市街地を、ゆっくり楽しみながら歩くウォークアブルなまちとして、街中に若者が滞留し来訪者も増えるように中心市街地の活性化につなげていきたいと考えています。</li> <li>・また、10 年後、20 年後の未来を見据えて、全国のどこにもない伊那市だけの新たなまちを思い描きながら、官民共創の革新的なまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
<p>市議会としての考え・対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校再編をきっかけとして構想が始まっている「まちづくり推進事業」（伊那市を持続可能な都市とするための産学官民連携によるまちづくり）では、高校生からも現状の課題やまちづくりに期待することを提言する機会があるようです。高校生の皆さんには、その機会に、今回の意見を含めて提言していただきたい。</li> <li>・市議会としても、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中に高校生の皆さんの意見が反映されるよう働きかけていきます。</li> </ul>

<p>意見 4</p>	<p><b>【高校生と議員との意見交換や交流の必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員と高校生との意見交換の場をたくさん設けるようにする。</li> <li>・学生の話聴く。街に関する話を気軽に話せる機会が欲しい。</li> <li>・議会が身近に感じられるよう SNS 等の活用で、高校生と議会が日常的に意見交換できるいろいろな工夫を重ねていく。</li> <li>・政治と若者が乖離している。政治の実態が分からないからだと思うので、実態を若者に知らせることから始めた方が良い。SNS も必要だが、対面での交流が大切。</li> </ul>
<p>市議会としての考え・対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き継続して高校生との意見交換会を実施していきます。</li> <li>・他団体の実施状況の確認もしつつ、共同で意見交換の場を設けたり、議会側から出向いて実施していく方法を考えていきます。</li> <li>・現在、探究学習が科目に入ってきたことから、各高校が地域の皆さんとつながり、地域で学ぶことを行っているようです。議会に限らず、地域住民の方と交流する中で高校生が有意義な経験をし、地域も意見を取り入れ活性化していくことが良いと考えます。</li> <li>・また、学校経由で議会についてのチラシを高校生に配布し、チラシに記載してあるQRコードから議会に関するアンケートに答えていただくことで、意見を言える機会を設けるよう、検討します。</li> </ul>

## 6. 生徒から出された意見に対する伊那市議会の検討結果、対応

(3) 要望事項など ① ② ③	出された意見	<p>a. 高校から伊那市駅までの歩く道が暗い（街灯がほとんどない）</p> <p>b. 弥生ヶ丘高校の東側の登校坂（教会のある道）の水路から雨が降ると水があふれている。冬の寒い日はその水が凍っていて危ない。</p> <p>c. 通学路ヒヤリハットで危険箇所（車通りが多く、幅員が狭い箇所、高い塀が壊れそうな箇所等）について、同じ箇所を何度も書いているが、整備されない。道路整備をはじめ、危険箇所の整備などをしてほしい。          （春富中学校区）</p>
	市議会としての考え・対応	<p>a、b ご意見のあった場所を再度聞き取らせていただき、市議会経済建設委員会において、実際の状況を現地確認しました。確認の結果、対応すべき箇所等がありましたので、地元議員を通じて、区等へ働きかけを行います。</p> <p>c 通学路ヒヤリハットでの危険箇所についてのご意見では、懇談のその場で、地元議員が該当箇所などを詳しく確認し、現状での市議会の取り組みや建設部、教育委員会でグリーンベルトや路面標示など対応していることを生徒に伝えました。</p>

探究学習発表





グループ懇談

全体会 感想発表



全員で記念撮影

